

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	障がい福祉課長 平岡 昇	電話番号	0852-22-6256
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	障がい者手当等給付事業		
目的	(1) 対象	障がい者、障がいのある児童を監護・養育する者	
	(2) 意図	手当を給付することにより経済的負担軽減を図る。	
事業概要	・経済的負担の軽減を図るため、在宅の重度障がい者や障がいのある児童を監護・養育する者に対して手当を支給する。 ・障がい者及び家族の将来の不安を軽減するため、加入している障がい者や保護者に年金等を支給する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		210.00	210.00	210.00	
式・定義	特別児童扶養手当の申請件数	実績値	201.00	230.00	221.00	191.00		件
		達成率		109.50	105.20	91.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	179,904	199,304
うち一般財源 (千円)	32,154	42,666

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度の特別児童扶養手当新規申請受理件数は、191件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

申請に基づき、受給資格の有無について、適切に判定業務を行っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、適正に判定業務を行っている。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）